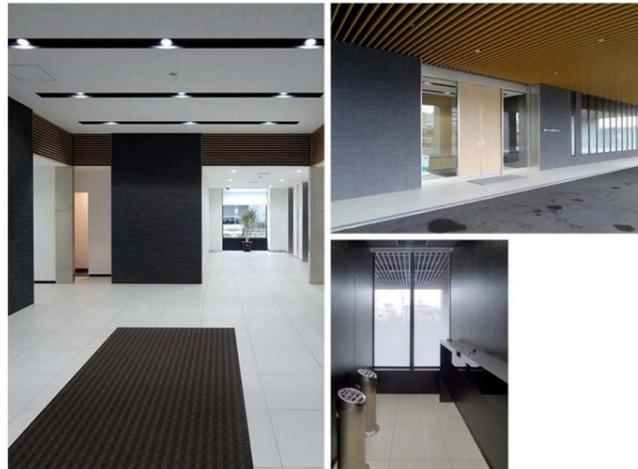


外観



縦連窓のファサードが特長的な北陸関電ビルディング。耐震性能を大幅に向上させ、耐震基準を25%超える性能を有している。

ピロティ・エントランスホール・喫煙室



モトーン的空間に木製のルーバーがアクセントとなったエントランスホール(写真左)。ピロティにも木製のルーバー天井を設置(写真右上)。エントランスホール横には喫煙室を設けている(写真右下)。

女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



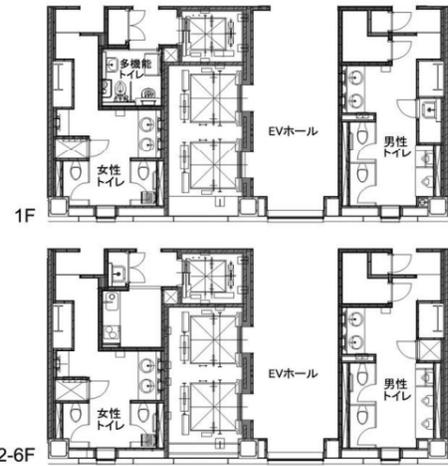
小便器コーナー同様、洗面・パウダーコーナーの壁にも50角のタイルを張り、意匠の統一性を図っている。1ヶ所の洗面器には、うがい薬用のディスペンサーを設置。プライベートな小物入れも完備されている。

女性トイレ 大便器ブース



大便器ブースの壁にも50角のタイルを採用。大便器は5.5L洗浄のパブリックコンパクト便器。1ヶ所の大便秘器ブースには、ストッキングの履き替えなどができるフィッティングボードを設置している。

トイレ図面



トイレ入口



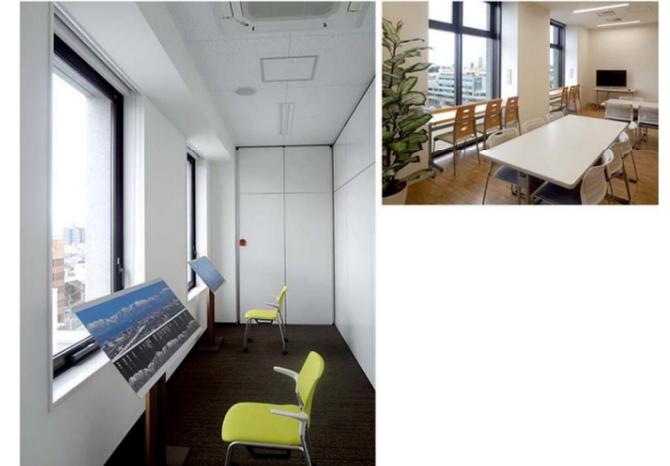
エントランスホール同様、トイレ入口前の通路もモトーンで落ち着いた雰囲気的空間となっている。照明は全館でLED照明を採用。トイレサインは、空間にマッチしたシンプルなデザイン。

1F 多機能トイレ



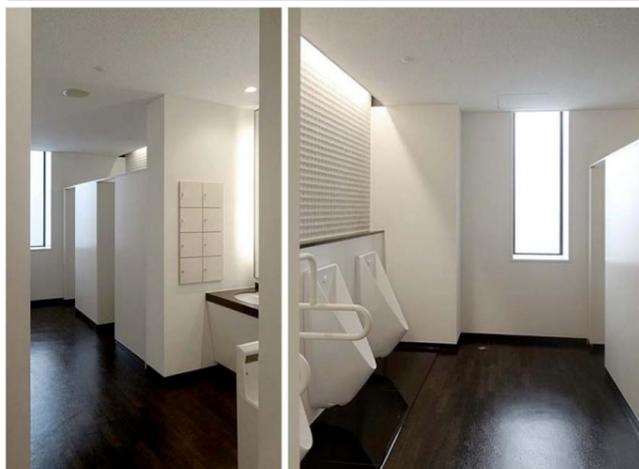
車いす使用者やおストメイト、小さなお子様連れなど、さまざまな使用者が想定される1Fには、おストメイト対応トイレバックやベビーシートを備えた多機能トイレを設置している。

6F 展望スペース・食堂



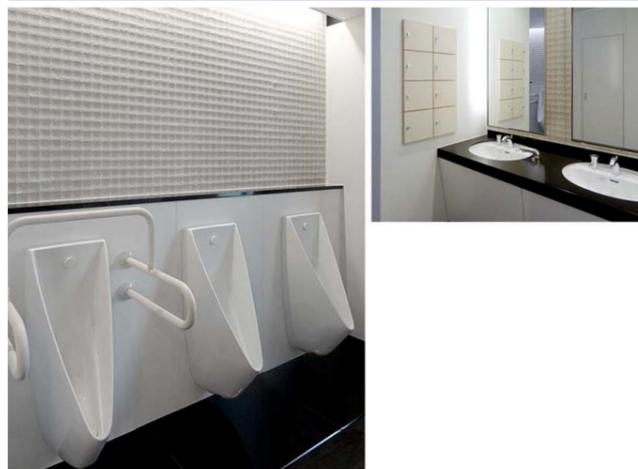
従業員用の食堂は、見晴らしのよい6Fに設置(写真右)。同じフロアにある展望スペースは、晴れた日に立山連峰を一望することができる(写真左)。

男性トイレ 全体



自然光が射し込む窓が設けられたトイレ空間。シンプルでモダンな、モトーンを基調とした落ち着いた雰囲気を醸している。

男性トイレ 小便器・洗面コーナー



凹凸のある50角のタイル壁が、トイレ空間を統一するモチーフ。小便器は、意匠性と節水性に優れたRESTROOM ITEM 01小便器を採用。洗面コーナーには、歯みがきセットを収納できる小物入れを設置。

建築概要

名称	北陸関電ビルディング
所在地	富山県富山市東田地方町1丁目2-13
施主	関電不動産株式会社
設計	株式会社ニュージェック
施工	株式会社熊谷組
竣工年月	2014年5月

水まわりの特長

<建物の特長>
1960年に竣工した北陸関電ビルディングは、旧本館の老朽化が進んでいたこともあり、本館の建替えを実施。耐震性能の確保を目的として制振装置を採用。「次世代対応型オフィスビルの実現」をコンセプトに、全館LED照明器具の採用による照明負荷の低減、個別空調による空調負荷の低減、高安全性・低メンテナンス材の使用など、環境に配慮した長寿命の高性能オフィスを実現している。また、最上階の展望スペースから、立山連峰を一望できるなど、立地特性を活かした快適なオフィスビルとなっている。

<トイレの特長>
トイレはモトーンを基調とした落ち着いた空間。環境に配慮して、大便器と小便器は節水タイプの器具を採用。建替え前に比べてトイレの水使用量を半分近く削減するという大きな節水効果を実現できたという。さらに、女性トイレは1ヶ所の大便秘器ブースに、ストッキングなどの履き替えができるフィッティングボードを設置。また、男女トイレの洗面コーナーに、うがい薬用のディスペンサーや歯みがきセットなどを収納できるプライベートな小物入れを設置するなど、毎日の業務をこなすワーカーに優しいトイレ空間を実現している。